

## 地域生活支援拠点等検討部会の取組報告

### 1. 目的

障害者の高齢化、重度化や「親亡き後」を見据え、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくために、障害者の地域生活を支援する機能を持った拠点等の整備やその仕組みについて検討する。

平成 29 年度は、平成 29 年 3 月に策定した「地域生活支援拠点等を整備するにあたっての基本的な考え方（整備基本方針）」に基づき、枠組みの詳細設計を行い、事業実施に向けた各種調整・整備を確実に進める。

### 2. 検討内容

緊急時対応の実態を把握する目的で、相談支援実施機関及び緊急受け入れ機関を対象に、緊急時の受け入れ・対応についての調査を実施した（調査期間 1 年間）。調査で把握された課題と、平成 29 年度に策定した「整備基本方針」に基づき、緊急事態の発生が予想される障害児者に対する事前事後も含めた緊急時支援において、地域生活支援拠点に配置する予定のコーディネーターと各支援機関が担うべき役割の詳細や、緊急時相談や緊急受け入れの流れについて整理した。

また、モデル事業を経て本格実施を目指す方針としているため、モデル事業の実施案についてもまとめた。（詳細については「地域生活支援拠点等検討部会検討結果報告書(案)」を参照）

回数等	開催年月日	実施内容
第 9 回	平成 29 年 4 月 19 日	緊急時の受け入れ・対応についての調査の実施に向けた調査票案の提示・協議
調査依頼 説明会の実施	平成 29 年 5 月～ 平成 29 年 5 月 25 日	相談支援実施機関及び緊急受け入れ機関への「緊急時の受け入れ・対応についての調査」の依頼及び説明会の実施
第 10 回	平成 29 年 6 月 28 日	地域生活支援拠点等コーディネーターの役割についての協議 緊急時の受け入れ・対応についての調査集計状況の共有
第 11 回	平成 29 年 8 月 9 日	地域生活支援拠点等コーディネーターと地域の各支援機関が担う役割の詳細についての協議 緊急時の相談及び緊急受け入れの流れについて協議
第 12 回	平成 29 年 9 月 27 日	
第 13 回	平成 29 年 11 月 15 日	事前登録の基準案の提示と協議
第 14 回	平成 30 年 1 月 24 日	緊急受け入れを担う機関のネットワーク構築についての協議 平成 30 年度からのモデル事業の実施案についての協議

### 3. 平成 30 年度の取組予定

#### (1) モデル事業の実施

部会での検討結果を基に、地域生活支援拠点等のモデル事業を、地域を限定して実施する。モデル事業の効果的な実施に向けた検討及び評価等を行う会議体を新たに設置して事業の検証等を行う。構成メンバーは、緊急時の受け入れ・対応の取組みに実践的に携わっている機関を中心に構成することを想定している。

モデル事業において、地域生活支援拠点等による支援方法及び効果の検証、運営上の課題等の整理を行うと共に、全市的な実施を行う場合の設置規模やコーディネーターの配置人数等の検証を行う。また、区協議会の場を活用した対象者把握と支援方針の検討及び支援の進捗管理、地域の支援機関との協働支援手法についても検証を行い、適切な運用方法について整理する。

#### (2) スケジュール案

##### 平成 30 年度前半（モデル事業の実施に向けた準備）

- ・ 実施事業所の選定（業務委託）
- ・ モデル事業の評価・検証等を行う会議体の設置
- ・ 登録者レビュー（支援方針の検討を行う）の実施に向けた実施区との調整
- ・ 実施事業所へのコーディネーターの配置と既存の支援ネットワークとの連携
- ・ 事業周知及び実施に向けた準備・調整

##### 平成 30 年度後半～平成 31 年度（モデル事業の実施）

- ・ 緊急事態の発生が想定される対象者の事前登録と個別支援の開始
- ・ 区協議会と連携した登録者レビューの実施
- ・ 緊急受け入れ機関のネットワーク構築に向けた取り組みの実施
- ・ モデル事業の検証と平成 32 年度からの全市的な実施に向けた整理